



平成30年度 地域医療介護総合確保基金(医療分)活用事業  
平成30年度 大分県中小規模病院等看護管理者支援研修

# 学び、高め合おう看護管理能力

日時：平成30年10月20日(土) 13:00～16:00

場所：大分県看護協会 〒870-0855 大分県大分市大字豊饒310-4 大分県看護協会

総合司会：寺沢 操(大分県看護協会副会長)

12:30～13:00 受付

13:00～13:05 挨拶

村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長・学長)

西永和夫(大分県福祉保健部医療政策課長)

## 第I部(80分)

テーマ「看護管理能力向上のために今できること～大阪府での取り組みから学ぼう～」

13:05～14:05(60分)

講演：「大阪府中小規模病院等看護管理者支援事業～大学の立場から(仮)」

講師：志田京子先生(大阪府立大学 第三学類 看護系 基礎看護学領域 看護管理学 教授)

14:10～14:30(20分)

演題：「大阪府中小規模病院等看護管理者支援事業～看護管理者の立場から(仮)」

演者：永久教子 看護部長(大阪府富田町病院)

座長：村嶋幸代(大分県立看護科学大学理事長・学長)

参加費：無料

----- 14:30～14:40 休憩(10分) -----

## 第II部(75分)

テーマ「大分県の看護管理を高める取り組みの現状と今後に向けて」

14:40～15:55 発表・総合討論

演者：看護の地域ネットワークメンバー

座長：甲斐仁美(大分県看護管理者連絡協議会会長)

福田広美(大分県立看護科学大学教授)

15:55～16:00 閉会挨拶 竹中愛子(大分県看護協会会長)

## お申し込み方法・メ切

- FAXをご利用の方は、裏面の参加申込書に必要な事項を記載して、お申し込みください。
- E-mailをご利用の方は下記のアドレスに、ご所属、ご連絡先を明記してお申し込みください。  
《大分県立看護科学大学 FAX:097-586-4389 E-mail:n-management@oita-nhs.ac.jp》

〈申込メ切〉  
10月12日



大分県中小規模病院等看護管理者支援協議会

主催：大分県立看護科学大学 大分県看護協会 大分県  
協力：大分県看護管理者連絡協議会 大分大学



## 大分県版「中小規模病院等看護管理者支援事業」について

地域包括ケアシステムの構築が推進されるなか、看護管理者の活躍が益々期待されています。厚生労働省は、平成28年度に「中小規模病院看護管理支援事業ガイドライン」を作成し、看護管理者の能力を高める活動を推進しています。大分県では全国に先駆けて、平成29年度より大分県版「中小規模病院等看護管理者支援事業」に取り組み始めました。「看護の地域ネットワーク」を基盤に、病院や訪問看護ステーション、老人保健施設等、多様な事業所の看護管理者の皆様が、より良い看護管理を目指した活動を進めておられます。

平成30年度の研修会では、「学び、高め合おう看護管理能力」をテーマに、大学と臨床の立場から志田京子教授と永久教子看護部長よりご講演を頂くとともに、県内で取り組み始めている看護管理者の皆様から活動の経緯や現在の状況、今後の展望等についてご発表頂きます。

会場の皆様と一緒に、看護管理の将来を展望し地域の発展について考える機会となることを願っております。

### 講師紹介 大阪府立大学大学院看護学研究科(看護管理学) 志田京子 教授

▶研究・著書 手島 恵、吉田千文、志田京子、勝山貴美子、飯田貴映子、神野正博：アウトリーチ（訪問）型看護管理能力支援モデルの開発 厚生科学研究費補助金地域医療基盤開発推進事業 平成26年度総括・分担研究報告書、2015。

志田京子編著：マンガでわかる！看護聞き言葉使い方辞典、エクスナレッジ社、2011。

久保真人、米本倉基、勝山貴美子、志田京子編著：よくわかる看護組織論、ミネルヴァ書房、2017。

▶所属学会 日本看護管理学会、日本看護科学学会、日本医療制度研究会（理事）

▶プロフィール 1983年 千葉大学看護学部看護学科卒業  
1983年-1993年 東京女子医科大学付属病院勤務  
1995年 ハワイ大学看護学部大学院修士課程修了  
1996年-2006年 社団法人北里大学北里研究所病院 教育担当婦長～看護部長  
2006年-2008年 医療法人社団 相州病院看護部長  
2010年-2013年 順天堂大学保健看護学部准教授（成人看護学）  
2013年-現在 大阪府立大学大学院看護学研究科教授（看護管理学）

### 演者紹介 大阪府富田町病院 永久教子 看護部長

1991年に大阪医科大学附属看護専門学校を卒業。1995年まで大阪医科大学附属病院で勤務。1996年駒澤大学文学部社会学科入学、大学生生活の傍ら急性期病院、クリニック、特別養護老人ホームなどさまざまな場で看護職として勤務。また、介護福祉士養成機関の実習指導者として多数の介護保険事業所に訪問した経験をおとして、「くらしの場に看護を届ける」ことに関心を持ち始める。

2000年に大学卒業後、特別養護老人ホームなどでの勤務を経て、2011年医療法人庸愛会とんだ訪問看護ステーション入職、訪問看護に従事。2013年に「暮らしが見える看護を、病院から」という目標を掲げて同法人富田町病院へ看護部長として異動。2017年3月より副院長を兼ね、在宅支援病院としての地域貢献を多職種とともに模索している。

参加申込書 FAX:097-586-4389

ご所属	お名前	ご連絡先
		TEL E-mail
		TEL E-mail
		TEL E-mail